

令和5年度宅地建物取引士資格試験における個人情報の漏えいについて（第1報）

当機構が山口県知事から委任を受けている宅地建物取引士資格試験の遂行に当たり、下記のとおり、個人情報の漏えいが発生いたしました。誠に申し訳ありません。関係する皆様に深くお詫びいたします。現時点で判明している事項をご報告いたします。

記

1 漏えいの概要

(1) 漏えいした情報と相手方

山口県における受験申込者の住所（郵便番号を含む。以下同じ。）、氏名が、別の受験申込者に漏えいしました。

(2) 漏えいの経緯

当機構は、当試験の業務の一部を協力機関に委託しています。

山口県における協力機関から受験申込者に対し、試験会場通知（はがき）を8月16日（水）に郵送（差出し）しました。

試験会場通知については、あらかじめ印刷業者に発注し、両面を作成しており、宛名は協力機関で印字しています。裏面には試験会場案内図等が載っており、本来であれば、そこへの印字は行いません。

ところが、この裏面に、宛名面の受験申込者とは違う方の住所、氏名が印字されているものがあり、この結果、上記(1)のとおり漏えいが発生しました。

この漏えいにつきましては、8月18日（金）、21日（月）にお1人ずつご連絡があり、発覚しました。その後、調査を進めていく過程で、22日（火）にさらに2名（計4名）の漏えいがあったことが分かりました。

2 試験会場通知の回収と謝罪

誤って裏面に住所、氏名を印字し、他人様に届いた試験会場通知について、8月21日（月）から先様に連絡・謝罪し、回収を実施しております。

回収の結果判明した、誤って裏面に住所、氏名を印字した方に対して、順次謝罪しております。

3 漏えいの原因、他の漏えいの有無、今後の対応等

(1) 原因

現在調査中です。

(2) 他の漏えいの有無

原因と合わせ、現在調査中です。

(3) 今後の対応

漏えいの状況についてさらに調査し、1 (2)以外に漏えいが発生していないか確認を進めるとともに、関係方面と相談しながら、再発防止策を講じてまいります。

また、本件の状況については、今後も報告してまいります。

(4) その他

本日現在、調査の結果、他の都道府県知事からの委任分について、同様の事案は確認されておりません。

以上

問合せ先 一般財団法人不動産適正取引推進機構
試験部 次長 伊藤
電話 (03) 3435-8181

協力機関 公益社団法人山口県宅地建物取引業協会
事務局長 中島
電話 (083) 973-7111